

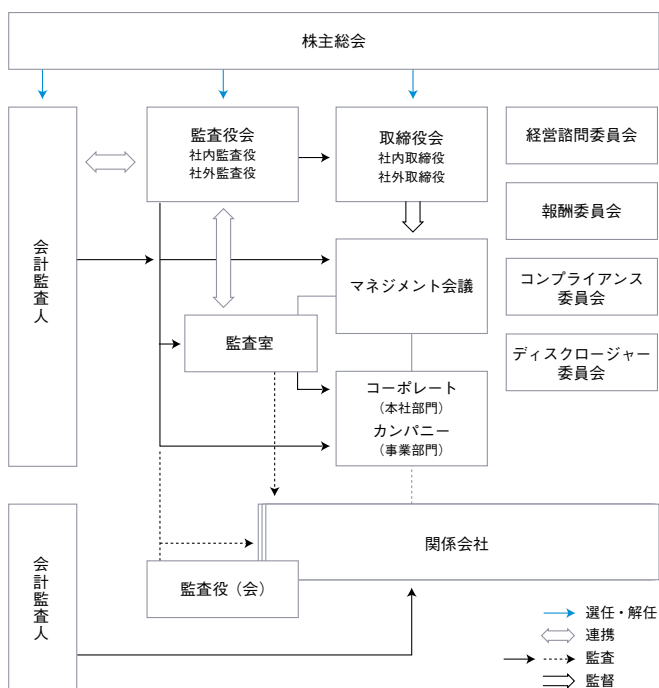
コーポレート・ガバナンス（企業統治）

沖電気グループは、お客様をはじめ、株主および投資家、お取引先、地域社会、社員など企業を取り巻くすべてのステークホルダーの皆様の信頼に応えるべく、企業価値を継続的に高めていくことが経営の最重要課題の一つであると認識しています。そのために、「経営の公平性・透明性の向上」「意思決定プロセスの明確化」「コンプライアンスの徹底」などを基本的な考え方とし、これを踏まえて策定した「内部統制システム構築の基本方針」に則り、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

ガバナンス体制

当社は監査役設置会社であり、取締役会および監査役会により、業務執行の監督監査を行っています。また執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分けることにより、経営の効率向上を図っています。

原則として毎月開催する「取締役会」では、経営の基本方針やその他の重要事項を決定するとともに、業務執行の監督を行います。



〈沖電気グループのコーポレート・ガバナンス模式図〉

また、「マネジメント会議」は原則週1回開催し、当社グループの業務執行に関する重要事項を決定するほか、各部門からの業務執行に関する主要な報告を受けています。

「監査役会」は取締役会その他の重要な会議への出席、取締役などから受領した報告内容の検証、会社の業務および財産の状況に関する調査などを通して、取締役の職務執行を監査します。また、内部監査部門の「監査室」との連携により、会社業務全般の実態を適正に把握するとともに、業務執行の監査を行います。

なお、当社は社外取締役、社外監査役を選任しています。社外取締役は、当社の経営環境や経営課題に的確な指摘ができ、取締役会の業務執行機関に対する監督機能の強化につながるなどの判断から選任しました。社外監査役は、取締役の職務執行に対する的確な監査が可能であると判断して選任しました。

当社は、コーポレート・ガバナンス機能を強化するために各種委員会も設置しています。

「経営諮問委員会」はトップマネジメントのアドバイザー機関です。社外の有識者の参画により、経営の透明性・健全性を高めることが目的です。また「報酬委員会」は、取締役、執行役員、執行参与の報酬の水準・仕組みの透明性を維持するためのものです。

「コンプライアンス委員会」は、COO（チーフ・コンプライアンス・オフィサー）を委員長とし、コンプライアンス（法令遵守）に関する基本方針の審議を行う全社横断機関として設置されました。また、「ディスクロージャー委員会」は、コーポレート・ガバナンス強化の一環として、多様なステークホルダーに対し、正確・迅速な情報開示を実施するために設置されました。

コンプライアンスの強化

当社は法令および社内規程の遵守を徹底するための基礎となる「沖電気行動規範」を制定し、eラーニング等を活用した教育研修により全社員のコンプライアンス意識の向上を図っています。また社内に通報・相談窓口を整備し、不正行為の早期発見と是正を図るなど、コンプライアンス委員会を中心にグループ全体でコンプライアンス体制の強化に取り組んでいます。

沖電気グループ

企業の社会的責任（CSR）

沖電気グループは、すべてのステークホルダーの皆様の信頼を得ることこそが企業価値向上の基盤であると考え、CSRを果たすための諸活動に積極的に取り組んでいます。関係法令の遵守はもちろん、社会的良識をもって健全な企業活動を展開し、世界の人々の快適で心豊かな生活の実現に貢献していきます。

※沖電気グループの詳しいCSR活動については、下記ホームページにてご参照いただけます。
(<http://www.oki.com/jp/csr/>)

「沖電気グループ企業行動憲章」

グローバルなグループ経営を進める上で、激しい環境変化の中でも継続的にCSRの取り組みを強化するためには、企業理念に根ざした社会的責任への基本姿勢をグループの一人ひとりが同じ言葉で理解し、その価値観を共有することが重要です。沖電気グループはこの認識のもと、2005年10月に「沖電気グループ企業行動憲章」を制定しました。

「沖電気グループ企業行動憲章」は、長期的かつグローバルな視点から、当社グループが企業理念に立脚して果たすべき社会的責任を以下の10項目にまとめています。

- ・お客様の満足 ・公正な企業活動 ・コミュニケーション
- ・知的財産と情報管理 ・人権の尊重 ・働きやすい職場環境
- ・社員の尊重 ・環境保全 ・社会貢献 ・国や地域との協調

今後この憲章に則り、誠実に企業活動を遂行していくとともに、積極的な開示を行い、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを図っていくことで、さらなる信頼関係の構築と企業価値の向上に努めていきます。

環境保全への取り組み

沖電気グループは、「e社会®の実現に寄与する商品の提供を通じて、次の世代のために、より良い地球環境を実現し、それを継承する」というグループ環境方針のもと、

- ①商品を通した環境への貢献
- ②事業活動における環境保全への貢献
- ③社会の環境活動への貢献

という3つの柱を据えて環境活動に取り組んでいます。またマネ

ジメント体制として「全社ネットワーク型環境経営」を推進し、グループ全体で情報・ノウハウの共有化を図るとともに、環境対策への重複投資を抑えて、効果の最大化を目指しています。

2005年度は「全社ネットワーク型環境経営」の一環として環境マネジメントシステム規格「ISO14001」の2004年版への移行審査を完了し、全社統合認証取得範囲を拡大しました。新たに大阪市にある研究開発本部と沖電気グループ会社3社が加わり、認証取得サイトは日本国内の15事業場および8支社、対象企業数は沖電気を含めた62社となりました。

社会貢献への取り組み

沖電気グループは、企業集団献血、複数の重度障害者の在宅勤務雇用、骨髄バンクのドナー登録にいち早く取り組んだ「3つのパイオニア」です。「良き企業市民として真に豊かな社会の実現に向けて、考え、行動し、共感を得る社会貢献活動を実践する」という基本理念のもと、会社としての寄付や地域貢献、社員の寄付型ボランティア「OKI愛の100円募金」の推進や各種参加型ボランティア活動の支援などを継続的に実践しています。

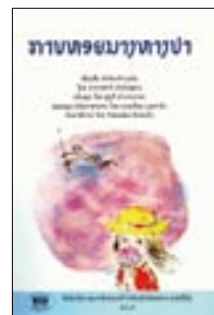
2005年度は2001年度から継続している森林保護のためのボランティア活動を強化し、長野県小諸市の「沖電気グループが育てる森」をはじめ、グループの事業所がある各地で社員・家族が除伐・間伐を行いました。またNPO法人「ラオスのこども」による児童書の現地出版に、国際交流基金と共同でスポンサー協力しています。



森林ボランティアの様子



ISO14001 2004年度版登録証



ラオス語絵本
「人魚がくれたさくら貝」

の社会的責任